

同朋学園 令和3年度 事業計画（案）

養護理念

同朋福祉社会創立者、江川義清の「人は大切 子は宝」の理念のもと、家庭で養育することの出来ない児童を保護する中で、人間尊重と子ども第一主義を目指して児童の最善の利益を追求し、積極的に福祉の増進を図ります。

処遇信条

子どもたちの抱えている個人的・社会的困難を共に担い、心豊かで健やかな成長を見守り、社会的な自立を援助し続ける処遇を目指しながら、子どもたちを取り囲む私たち大人も、子どもたちを通して共に成長していくことを信条とします。

目標

1) 社会貢献

- ・地域清掃の実践（子どもと一緒に毎月1回・職員のみは年11回）
- ・地域活動への参加（自治会による地域清掃年2回・全教一斉ひのきしんデ一年1回・五毛天神子ども神輿・みのおかまつり手伝い・児童館夏祭り手伝い）
- ・地域支援（子育て相談・ヨガや会議等の会場提供）

2) 子ども支援

- ・グループホームやユニットでの生活で家庭体験を増やす
- ・子どもが主体的に運営する行事（運動会など）
- ・子ども対象の研修会（サイバー講習・性（生）教育）
- ・学習支援（学習塾の活用、図書コーナーの充実）

3) 社会的、家庭的養護推進に向けて職員の資質向上を目指す

- ・子どもの権利擁護チェックリスト（全養協）による自己点検
- ・ケースカンファレンス（年11回）
- ・講習会、研修会の実施（障がい児研修・性（生）教育等）
- ・調理作業の向上

4) 「ようこそ」「さきに」「ありがとう」の実践

- 「ようこそ」 →学園に来られた方すべてに“ようこそ”的な思いを持って接する
「さきに」 →日常のあいさつは自分から“さきに”行う
「ありがとう」 →どんなことからも学びがあることを知り、“ありがとう”的な思いを持つ

1 施設運営

(1) 児童の処遇

ア 児童数

幼児	小学男子	小学女子	中学男子	中学女子	高校男子	高校女子	その他	合計
3	11	4	6	4	4	4	4	40

《月別児童予定人数》

4月	5月	6月	7月	8月	9月	459
40	39	38	38	38	38	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
38	38	38	38	38	38	

イ 心理療法・・・春海淳子・金沢 晃・山本 梓・山本結子

- 毎週月～金曜日 15：00～19：00

ウ 健康管理

- 園児健康診断 年2回
- 身体測定(月1回 身長、体重)

エ 年齢別目標

幼児

- 安心して生活できるよう、家庭的な雰囲気を心掛ける。
- 子どもの思いを受容し、信頼関係を深める。
- 生活リズムを身につける。
- 友達と一緒に遊ぶことの楽しさを知る。
- 幼稚園・こども園等へ通い、たくさんの人とコミュニケーションをとる。

小学生

- 基本的生活習慣を身につける。
(朝起き・挨拶・身辺整理・食事マナー・基礎学力・規則を守る・礼儀など)
- 戸外遊びで健康な身体をつくるとともに、遊びを通してルールを学ぶ。
- 自分の気持ちを言葉で伝える。
- 人の話をきちんと聞く。
- 行事を心から楽しむ。
- 感謝の気持ちを育む。

中・高生～

- 基本的生活習慣を身につける。
(朝起き・挨拶・身辺整理・食事マナー・基礎学力・規則を守る・礼儀・掃除など)
- 日々の生活、行事を通して社会経験を多く体験し、社会に出ていくための準備期

間を過ごす。

- 自己分析できる力を身につけ、自尊心や自信につなげる。
- 自分の考え方意見を言葉で表現し、他の人に伝える力を身につける。
- 周囲の環境、人に流されず自分で考え正しい判断ができる力を身につける。

主な全体行事予定	
4月	入進学お祝い会
5月	連盟行事（ハイキング、幼児レクレーション）
6月	連盟行事（近畿フットサル大会、卓球大会）
7月	キャンプ、鼓笛合宿
8月	韓国施設交流、連盟行事（バレーボール大会）
9月	
11月	連盟行事（フットサル大会）
12月	クリスマス会 年末お楽しみ会（ボウリング大会）
1月	
2月	連盟行事（グリーンカップ）、連盟行事（スキー大会）、御礼団参
3月	鼓笛合宿
月例行事	誕生日会・その他季節行事・地域清掃（毎月1回）

才 栄養管理

- 集団給食施設栄養報告 年2回（保健所に提出）
- 給食供給者としての諸管理
- 食中毒、安全管理

カ 安全管理

- 防火管理者講習会（年1回）
- 火災通報設備設置・避難訓練の実施
- 県警ホットライン通報設置・不審者訓練の実施
- オートロック及びモニターの設置
- AEDの設置
- 防犯カメラの設置

キ 苦情解決制度

- 苦情解決責任者 園長
- 苦情受付担当者 各担当者
- 第三者委員 佐藤敏充（佐藤敏充税理士事務所）
上杉徹（神戸真生塾 施設長）

ク 関係機関との連携

(子ども家庭センターとの関係)

- 入所児童の処遇について、ケースワーカー、心理判定員等と緊密な連絡をとり、通所等で処遇の改善を行い、保護者を含めた児童の健全育成に努力する。
- 子ども家庭センターとの連絡を密にして、入所の充足に努める。
- 子ども家庭センターと連携して緊急一時保護の受け入れをする。

(学校との関係)

- 幼、保、小、中、高校との連絡を密にし、施設での定期懇談会等を通じ、児童にとってより適切な学習や生活指導が行えるようにする。
- 中学校の学習指導については特に強化を図り、高校進学率が向上する事を目指す。
- 高校生においては学校との連絡を密にし、学習、生活面での指導を通じて、学力の向上と社会人としての自主性、自立心の向上を図る。同時に高校中退をなくす。
- 大学、専門学校においては学校との関係は本人が自主的に行動し、卒業・就職に至るような本人支援を行う。

(2) 職員の処遇

ア 職員構成

	施設長	児童指導員 保育士	栄養士	事務員	調理員等	嘱託医	その他 (心理・宿直)	合計
正規職員	1	24	1	1	2			29
嘱託職員 (8時間勤務)		2			1	1		4
期間雇用職員 (短時間勤務)		7		.	1		4	12
無期雇用職員							1	1
アルバイト		3						3
合計	1	36	1	1	4	1	5	49

* 地域小規模グループケア

	児童指導員・保育士				合計
	正規職員	嘱託職員	期間雇用職員	アルバイト	
北町ホーム	4				4
中町ホーム	3		1	1	5
みつばホーム	4		1	2	7
さくらホーム	3		1		4
小学男子ホーム	4				4
つくしホーム	3	1	3		7
フリー	2	1	1		4
合計	23	2	7	3	35

イ 健康管理

- 健康診断 年1回、但し宿直者は年2回（川岸医院）
- 検便検査 調理担当者・保育士・指導員 月1回（6月～10月は月2回）

ウ 職員会議

- 定例会 毎月1回（給食会議を含む）・・・全職員参加
- ケースカンファレンス 年11回・・・全職員、心理、担当CW、学校教諭参加

エ 研修計画

- 近畿児童養護施設研修
- 市社協新任研修
- 全国児童養護施設長研修
- 給食者研修
- 西日本児童養護施設職員研修
- 天理教社会福祉施設連盟研修
- 発達障がい研修
- コミュニケーション研修
- コンプライアンス研修
- 虐待防止研修
- 性教育研修

オ 退職・福利厚生

- 独立行政法人医療福祉機構加入
- 民間社会福祉施設職員退職手当共済事業加入

2 施設管理

(1) 事務関係

ア 会計事務、管理事務

- 経理事務全般
- 運営費及び補助金申請に関わる事務全般
- 接客事務全般

イ 児童処遇事務（保育、給食、健康管理）

- 各種書類の作成、記録、管理

(2) 設備関係

ア 危険箇所の有無確認

- 建物、電気、水道、ガス（毎日）

イ 修繕予定

なし

(3) 備品関係

- ア 備品購入予定
なし
- イ 給食用品購入予定
なし
- ウ 固定資産物品購入予定
なし

(4) 災害対策

- ア 避難訓練
 - 避難・消火訓練（月1回）
 - 瀬戸内海消防署による総合防災教育（年2回 内1回は自主総合防災訓練）
 - 地震に対する訓練（年1回）
 - 不審者に対する訓練（年2回）
 - 土砂災害に対する訓練（年1回）
- イ 防災設備の点検委託
 - 東報サービス株式会社（年2回）
- ウ 非常食糧の備蓄（約3日分）
 - 米類 15kg ○ 缶詰パン 48缶 ○ 飲料水 300㍑
 - カップ麺 60食 ○ 救給カレー 60食 ○ みかんの缶詰 24缶
 - シーチキン 48缶 ○ やきとり缶詰 48缶 ○ 缶入りクラッカー 30缶

3 地域社会との連携

- 幼稚園、保育園、小中学校、高校、警察、サポートセンターとの協力体制
- 児童館、地域福祉センター行事の参加、協力
- 各大学、専門学校、短期大学等からの実習生の受け入れ
- ボランティアの受け入れ
- 会場の提供（ヨガ教室、自治会）
- 物品の貸し出し
- 地域清掃（毎月第3日曜日は児童・職員で実施+職員会議時に職員のみで実施）

4 地域支援

- 子育て相談：随時
- 子育て支援（リフレッシュ）事業：随時

養護理念	方針	目標	計画	同朋学園	
的 に 人 間 尊 重 と 子 ど の 増 進 を 目 指 す る	北 町 ホ ーム 中 町 ホ ーム み つ ば ホ ーム さ く ら ホ ーム つ く し ホ ーム 食 堂 事 務 所	自立に向けて必要な力、大切な心を育む 子どもの気持ちに寄り添い お互いを尊重しあえる心を育てる 思いやりの心を大切にし、安心できる 安心できるホーム 子ども達の健全な発育、発達のための 食事作り、および自立後の食生活を支 援するための食育 事務の効率化・明るく入りやすい事務所	<ul style="list-style-type: none"> ルールを守る 生活リズム、時間を守る 自分の気持ちを人に伝える 自分の言葉、行動に責任を持つ <ul style="list-style-type: none"> 話しやすい関係性を築き、自己選択できるよう導く 子ども同士が互いに尊重しあい、共にわかりあえる 意見を出し合う <ul style="list-style-type: none"> 子どもも大人も挨拶をしてコミュニケーション力を高める 自分の気持ちを言葉で表現する 人の話をきちんと聞く <ul style="list-style-type: none"> 「ありがとう」「ごめんね」をしっかりと伝えよう 自分の気持ちを言葉で表現する 毎日挨拶し、コミュニケーションをとり、話しやすい関係性を築く <ul style="list-style-type: none"> 家庭的なあたたかい雰囲気を心掛ける 子どもたちとの時間を大切にし、共に成長し、信頼関係を築く 生活リズムを身につける 友だちといっしょに遊ぶことの楽しさを知る <ul style="list-style-type: none"> 児童を対象に調理指導を行い、自立につなげる 適正な温度で食事提供できるようにする ホームでの調理、衛生面について指導する <ul style="list-style-type: none"> 明るい挨拶と笑顔 役割分担と情報の共有化 思いやりと思いやりを感じる心 	<ul style="list-style-type: none"> ルールをしっかりと守らせる 朝起き、食事、その他の時間を守らせる 子どもの状況をよく把握し、理解するよう努める コミュニケーションをよくとる <ul style="list-style-type: none"> 個々の状況に合わせ、その都度話し合いの場が持てるよう職員同士連携をとり、児童の様子を共有する 定期的にホーム会議を実施し、自分たちの意見を共有できる場を提供する <ul style="list-style-type: none"> 朝夕、食事前後の挨拶の実施 子どもからの意見は尊重し、きちんと受け止める 日常の会話を大切にし、子どもが職員に相談しやすい雰囲気づくりを心がける <ul style="list-style-type: none"> 職員から積極的に「ありがとう」「ごめんね」の言葉を伝える 一人ひとりの子どもに寄り添い、話を聞く 子どもの表情をしっかりと見て職員同士情報共有する <ul style="list-style-type: none"> 日々の関わりを丁寧にし、関係づくりをする 常に笑顔で接し、命令口調でない優しい口調を心掛ける 生活リズムを覗きないよう心がける できていることはしっかりとほめ、子ども達の自信につなげる <ul style="list-style-type: none"> 食に興味がもてるよう定期的に調理実習を行う 自立後の食生活に役立つメニューや調理指導する機会を設ける 定期的にホームを見回り、情報交換をする ゆとりを持った事務作業 役割分担の確認作業 整理整頓 	